

ひらいた門

見よ。わたしは、だれも閉じることのできない門を、あなたの前に開いておいた。なぜなら、あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。 黙示録3：8

VOL.01-02 NO.002 2009年5月

チャーチ・オブ・ゴッド

川崎南部キリスト教会

〒210-0025 川崎区下並木66

TEL&FAX 044-233-3648

Eメール：nanbu-kyokai@nifty.com

URL：<http://homepage2.nifty.com/nanbukyokai/>

心の動き

橋本幸夫

「いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。」 (Iコリント 13：13)

心の動きとは何のことでしょうか。

それは簡単なようで難しい質問です。抽象的な言葉で答えるよりも、実例を挙げて説明したほうが分かりやすいと思います。

それは徹夜で病気の子どもを看病する母親です。それは恐ろしい黄熱病にかかった人を救おうとして、自分のいのちを惜しまなかった野口英世のような人物です。

数年前、若いふたりは都会の蒸し暑い夏の午後をさけ、海に泳ぎに行きました。彼は沖にで、彼女は浅いところで泳いでいました。突然、彼の叫び声が聞こえました。

「サメだ、早く海から出るんだ！」

振り向いたとき彼女は友人にサメが襲いかかるのを見ました。自分を忘れて急いで彼を助けに泳ぎました。

でも遅すぎました。

彼はすでにサメにひどく噛まれていました。だが、不思議なことに彼女が近づくるとサメは去っていきました。そして心を込めてふたりは神に祈りました。しかし多量な出血のため、彼は意識を失いもなく息絶えました。

危険を感じたとき、自分よりも相手の安全を心配する。それが心です。

1912年タイタニック号が冰山と衝突したとき、子どもと女性は救命ボートに乗せられ、男性は船と運命を共にしました。そのときどうしても夫から離れない女性がいました。

夫はしきりにすすめましたが、

「40年も一緒に暮らしたのに、今になってあなたから離れられません。」

と答えて夫と死を共にしました。それは心です。

また、それはご自分を十字架に釘付けた人のために祈られたキリストの姿です。

「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」(ルカ23：34)

そうです。心が選ぶ道は英雄的でまた同時に平凡です。賢明で愚かに見える場合もあります。あたりまえのようでなかなか言い尽くせません。結局、一言でいえばそれは愛です。